

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	14
	令和	4年 8月25日
	午前・午後	2時30分

議会名	令和 4 年 第 5 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号	13 番	横田 誠
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 2040年問題を見据えた取組について (1) 在宅医療と介護の連携について	①2040年の年齢別人口と高齢化の推移予測のもと、在宅医療・介護提供の体制は今後どうあるべきと考えているか伺います。 ②在宅医療・介護連携推進協議会の役割と現状の取組について伺います。 ③在宅医療と介護の連携における展望について伺います。		
(2) 在宅医療・介護連携コーディネーターについて	①在宅医療・介護連携コーディネーターの人数及び活動内容について伺います。		
(3) 生活支援コーディネーターについて	①第一層協議体、第二層協議体それぞれにおける生活支援コーディネーターの属性、人数、活動内容について伺います。		
(4) 保健師について	①現在の所属別人数、活動内容について伺います。 ②特定保健指導の成果について伺います。		

<p>(5) コミュニティナースの育成について</p>	<p>①コミュニティナースに対する認識と、その有用性について見解を伺います。</p> <p>②資格試験受験料の全額助成事業を活かし、准看護師などの資格の取得を支援した上で、リカレント教育の一環としてコミュニティナースの育成を支援する取組をしてはどうかと考えますが、見解を伺います。</p> <p>③地域住民により近い立場で地域の健康づくりやコミュニティづくりに携わる、地域おこし協力隊としてコミュニティナースを採用してはどうかと考えますが、見解を伺います。</p>
<p>(6) まちの保健室について</p>	<p>①暮らしの動線上にあって、住民に身近で誰でも気軽に立ち寄ることができ、健康相談ができる「場」として「まちの保健室」を設置してはどうかと考えますが、見解を伺います。</p>
<p>2. 小規模多機能自治について</p>	<p>①佐野市コンパクトシティ構想にある、小さな拠点の在り方について伺います。</p> <p>②小規模多機能自治の理念や仕組みを用いて、地域課題を住民自ら解決するような取組を広げてはどうかと考えますが、見解を伺います。</p>